

SV2004 活動報告 << スポーツ・ボランティア入門説明会 >>

日時：2008年2月10日(日) 13時～15時

場所：仙台市産業・情報プラザ 情報化研修室 (アエル5F)

参加者数：30名

開催の目的：スポーツのボランティアの初心者に対しては活動や募集の状況を知るきっかけづくりの場として、既に経験している人に対しては他の団体の活動を知る機会として、更に、ボランティアを募集する組織に対しては、多くのボランティア活動に関心をもつ人々へのアピールの場として今回初めて開催しました。

報告

当日は前日夜からの雪により、足元が悪く参加者への影響を心配しましたが、多くの方が時間前には集まり狭い会場はいっぱいになりました。事前の告知が不足していたことを考えれば多くの方々の協力で実施できた手作りの企画となりました。

活動団体紹介

【 グランディ・21ボランティア 】

宮城スタジアムを中心として活動している施設型ボランティアで、説明はプロジェクターを使用して宮城スタジアムでの国体・Wカップを中心としたイベントの歴史を振り返り大型のイベントが終わってから、施設を住民・県民にとって

身近で愛されるものとなるよう、ボランティア組織が誕生したいきさつと、イベント運営やスタジアム見学案内、情報発信などの活動について説明。今年の



募集はスタートしており、県民に愛される「グランディ・21」作りに熱意のある方や2008年1月1日現在で満16歳以上の方であれば応募でき(未成年者は親の同意が必要)、今年からちよいボラ(ボランティア体験)の制度もスタートしているとのことでした。

詳しくは公式ホームページをごらんください。

<http://www.miyagi-sports.net/grande21/>



【 スペシャル・オリンピックス日本・宮城ボランティア 】

1962年に知的障害のある人々の自立と社会参加をめざして日常的なスポーツトレーニングとその成果を発表するための競技会を提供する組織として誕生、宮城には1995年に国内6番目の地区組織として誕生し、おおくのアスリート(スポーツ活動に参加する知的障害のある人々)がさまざまなスポーツを楽しんでいます。経験はなくてもボランティアに参加していただける方を募集、しています。と説明がありました。当日は世界大会にも参加されたアスリート代表からも呼びかけがあり、会場が暖かい熱気に



包まれました。スペシャル・オリンピックス(略称SO)は、「コーチ・アスリート・ボランティア」の会員募集も行っています。

詳しくは公式ホームページをご覧ください。

<http://www.son-miyagi.jp>

【 楽天イーグルス・ボランティア 】

2005年に50年ぶり新球団としてパリーグに参戦した楽天イーグルス、誕生当初から「地域密着」のスローガンのもと、プロ野球では初めてのボランティア制度を導入しました。その中心となるのは「ごみの分別」によりリサイクル率のアップをめざすとともに、観客と共に地球環境を考える「エコボランティア」活動と、ゲームの無い日にホームスタジアムである「Kスタ」を身近に感じてもらう「見学案内ボランティア」活動です。

現在、新年度のボランティア募集がスタートしており、シーズン中にはさまざまな交流会などの企画もあるため、楽しみながら参加してほしいとのことでした。

詳しくは公式ホームページをご覧ください。

http://www.rakuteneagles.jp/company/r_treatmentC.php

【 市民スポーツ・ボランティア SV2004 】

サッカー・国体・ワールドカップなど様々なスポーツのボランティアを体験した有志が集まり、幅広いスポーツ・イベントの盛り上げと、スポーツのボランティアに関する「環境・研修・交流」の活動を行うため2004年に誕生した、全国的にも珍しい市民型スポーツ・ボランティア組織です。

誕生後、新たに誕生した「楽天イーグルス」「仙台89ERS」などのプロスポーツのボランティア組織の立ち上げに参加、現在もアドバイザー組織として関わっているほか、「世界バスケットボール選手権」やサッカーの「日本代表戦」などにも参加、会員の意見をもとに自主的な活動を行っています。今後はボランティアの活動をまとめた「ボランティア・ハンドブック」の改訂や、種目や地域の枠をこえたボランティア同士の交流促進などにも取り組み「楽しい」活動をサポートしていきます。

詳しくは公式ホームページをごらんください。

<http://www.miyagi-sports.net/sv2004/>

まとめ

当日はスポーツのボランティア初心者はもちろん、さまざまなスポーツのボランティア活動に関わる方々が集まりました。現実にはまだまだスポーツのボランティアの認知は不足しており、その活動の環境も

恵まれたものばかりではないでしょう。だからこそ、広くこうした活動を知ってもらう機会をこれからも設け、一人でも多くの仲間を増やしたいと思います。

昨年の東京マラソンで運営事務局がボランティアに送った言葉「あなたがいたから」、互いを認め、思いやる気持ちをいつまでも持ち続けたいものです。多くの皆様の参加をお待ちしています。

